

乳房切除+乳房再建術（ティッシュエキスパンダー挿入）を受ける 様へ

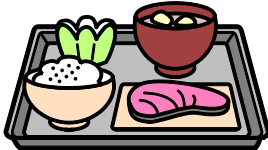
* 乳房切除後に乳房再建術（ティッシュエキスパンダー挿入）を行います

福井赤十字病院 外科 形成外科 No. 1

	手術前日	手術当日の手術まで	手術当日（手術後）	1日目	2日目	3日目
月 日	/	/		/	/	/
目 標		・ 許可された範囲内で少しずつ身体を動かしていきましょう				
検 査 治 療	・ 術後合併症を予防するために歯科受診をしていただきます ・ 麻酔科医師が診察します （ただし、休日の場合は別の日に診察します） ・ 眠れなければ睡眠剤があります	・ 手術室入室時間は 時 分の予定です ・ 午後からの手術の場合、午前中に点滴があります	・ 点滴があります ・ 痛みが強ければ痛み止めの注射か坐薬を使用します ・ 酸素吸入を行います ・ 心電図の器械をつけます	・ 抗生剤の点滴が1日3回あります		
				・ 痛み止めを内服します ・ 採血があります		・（術後2～4日目に）歯科受診があります
処 置	・ 脇の除毛ができているか確認します		・ ガーゼが汚れていれば交換します ・ 管が抜けないようにテープを貼ります （テープが剥れた場合、教えてください）	・ 回診時ガーゼ交換はしません	・ 形成外科医がガーゼ交換をします	
安静度	・ 制限はありません		・ ベッド上安静ですが、寝返りをすることができます	・ 制限はありませんが、管（ドレーン）を持って歩いてください ・ 歩行時、管をひっぱらないように注意してください		
食 事	・ 麻酔科医師から飲食・飲水制限があります 飲食（ ）までできます 飲水（ ）までできます			・ 朝から全粥軟菜食がでます	・ 朝より常食がでます	
排 泄		・ 手術時間が近くなったらトイレを済ませてください	・ 尿の管が入ってきますので、引っぱらないでください	・ 尿の管を抜きます ・ トイレに行けます		
清 潔		・ 手術に行く前にうがいをしてください	・ うがいがしたい時は看護師に声をかけてください	・ 蒸しタオルで身体をふきます	・ 洗髪します	
観 察	・ 入院時に行います	・ 朝と手術前に測定します	・ 頻回に血圧、熱など測定します	・ 朝昼夕測定します	・ 1日2回測定します	
リハビリ	・ 必要に応じて、手術前の肩の動きの確認を行います			・ 形成外科医の指示に従って進めていきます ・ 肘から下は動かしてください		
教育指導	・ 看護師が手術に必要なことを説明します	・ 看護師が深部静脈血栓予防について説明します			・ 薬剤師が薬についての説明をします	
その他	・ 入院診療計画書、手術同意書をご記入のうえお出してください ・ 煙草を吸われる方は禁煙してください	・ ネックレス・時計・指輪・入れ歯など外せるものは必ず外してください				
説明者						

※状態に応じて予定が異なる事もあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医（ ） 担当看護師（ ）

	4 日 目	5 日 目	6 日 目	7 日 目	8 日 目
月 日	/	/	/	/	/
目 標	・ 医師の許可範囲で少しずつリハビリをしていきましょう			・ 創部に異常がなく、医師の許可があれば退院となります	
検 査 治 療	・ 痛み止めを内服します 		・ 採血があります 		・ 退院予定です
処 置	・ 形成外科医がガーゼ交換をします		・ 傷の状態をみて抜糸します ・ 抜糸したあと傷にテーピングします		
安静度	・ 制限はありません				
食 事	・ 朝より常食がでます 				
清 潔	・ 洗髪します	・ 蒸しタオルで身体を拭きます 	・ 管が抜け、医師の許可があり、創部の状態が問題なければ、シャワーが出来ます 		
観 察	・ 一日一回測定します				
リハビリ	・ 形成外科医の指示で進めていきます				
教育指導				・ 自宅でテーピングが必要な場合、 テーピングの指導をします ・ 看護師が別紙を使い、退院後の生活について パンフレットで説明します	
その他					・ 退院療養計画書をお渡ししますので、 署名の上お出してください
説明者					

入院負担割合	3 割	7 0 歳以上 (1 割)	7 0 歳以上 (2 割)	7 0 歳以上 (3 割)
負担額	約 3 5 ～ 4 0 万円	約 8 0 , 0 0 0 円	約 8 0 , 0 0 0 円	約 1 2 0 , 0 0 0 円

2022.4.21☆

＊入院費は概算ですので、診療内容（特に手術内容）、病状によって異なる場合がございますので、ご了承ください。

＊退院日が決まりましたら、請求金額の概算をお伝えする事も出来ますので、病棟クランクまでお尋ねください。

＊入院負担費が3割の患者様は、高額な保険診療ですので、「限度額適用認定証」の申請をおすすめします。